JAPAN TEACHERS' UNION ―教え子を再び戦場に送るな―

JTU ほっきゅう NO.28

2023. 10. 6 北九州市教職員組合にゅうす

第2期教研、開催される！no.4 ～分科会編～

～埼玉超勤訴訟を起こした「田中まさお」さんと一緒に考える私たち教職員の働き方～

NO.27からの続きです。2 期教研の目的の一つとして、県教研に向けた「レポートづくり」があります。今号からは、分科会で論議された内容を簡単にご紹介します。どの分科会も多くの参加者で活発に話し合いが進んでいました。

平和教育分科会

県教研のレポートは、中学校での修学旅行に向けた平和学習のとりくみ。8・6平和のつどいでのとりくみをまとめた形で作成中ということで確認をしました。また、現場での課題として今後の実践をどうするか、若い教職員にどう学びの場をつくり、学校全体をまきこむようなとりくみをどう作っていけば良いかというような課題が挙げられました。具体案としては、紙芝居や読み聞かせのとりくみと北九州市の戦跡をフィールドワークでめぐるような学びの場をつくる案が出されました。フィールドワークについては、北九州市だけでなく県の組合員にも呼び掛けていってはどうかという意見もありました。

ジェンダー平等をめざす教育分科会

いつもより多くの10人の参加がありました。初めて参加される方もいて、それぞれが感じていることや学習していることを交流しました。事務職の方からは来客があった時のお茶出しについて、中学校からは、制服や校則の見直しについて、小学校からは、多様性の学習や性教育について意見を交流しました。資料や書籍、動画を紹介しあい、今後の学習に繋げようと話しました。朝鮮学校の先生も参加してくださり、性暴力対策アドバイザー事業やいのちの安全教育、性の多様性についてこれからとりくんでいきたいとお話をされていました。思いを交流し、広げていけるよい機会になりました。何か尋ねたいことがあれば、組合事務所に連絡をしてくださいとお伝えしています。

社会科教育・人権教育分科会

社会科教育分科会と人権教育分科会の合同で行いました。それぞれの分科会から県教研に提出するレポートについての発表がありました。社会科教育では霧丘中の末次先生から「資料活用から深い学びにつながる授業づくり」というテーマで、広島の学習に今年行われた広島サミットの資料を合わせて紹介し、学習から見えてくる世界を広げていこうとする実践を紹介していただきました。人権教育では足原小の中島先生から、「交流と対話を積み重ねながら ～住民同士がともにわかりあえる関係になるために～」というテーマで、霧丘小学校区の通学路変更をきっかけに、住民同士が話し合う機会を持ち、部落問題に対する理解を深めていった報告がありました。朝鮮学校の先生も参加してくださり、日本の社会の中で生活しつつ自分たちの文化や歴史をどう伝えていくか、日々考えながら授業を行っていることなどお話しいただきました。

NO. 29につづく

わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！

///JTU 北九州市教職員組合 〒802－0072 小倉北区東篠崎３丁目4－1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp 北九州教育会館 TEL（093）953－0381